

会社概要

商号	株式会社和井田製作所 (英文社名: WAIDA MFG. CO., LTD.)
所在地	〒506-0824 岐阜県高山市片野町2121番地
設立	1946年10月22日
資本金	8億4,330万円
従業員数	163名(連結) 135名(単体)
連結子会社	ジャパン・イー・エム株式会社 和井田友嘉精機股份有限公司(台湾)

株式の状況

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	7,028,000株(自己株式599,294株を含む)
株主数	2,145名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
和井田 俣生	430,060	6.68
和井田 光生	426,500	6.63
株式会社十六銀行	321,300	4.99
株式会社三菱東京UFJ銀行	321,000	4.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	306,900	4.77
和井田 叔子	250,000	3.88
和井田製作所従業員持株会	203,900	3.17
株式会社ナガセスッポン養殖場	159,200	2.47
和井田 克子	121,200	1.88
株式会社大野光	121,000	1.88

(注) 持株比率については、自己株式(599,294株)を控除して算出しております。

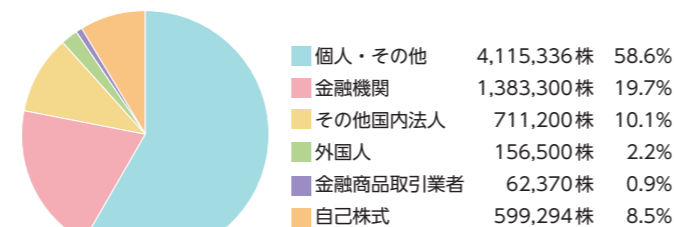
役員

代表取締役会長兼社長	和井田 光 生
取締役副社長	久保 朝 義
取締役	洞 口 秀 臣
取締役	藤 井 啓 太
取締役	森 下 博
取締役(監査等委員)	田 村 孝 至
取締役(監査等委員)	渡 邊 一 (弁護士)
取締役(監査等委員)	山 下 英 一 (税理士)

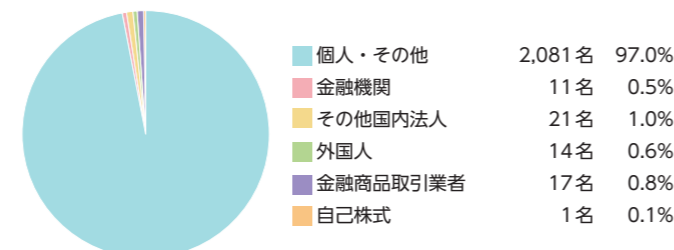
(注) 渡邊一氏及び山下英一氏の両名は、社外取締役であります。両名を独立役員として指定し、東京証券取引所に届け出ております。

株式分布状況

○株式数構成比



○株主数構成比



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)
公告方法	電子公告 アドレス: http://www.waida.co.jp/ ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に記載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所	〒460-8685 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について	株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
・未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

お問い合わせ先 株式会社 和井田製作所 経営企画部

〒506-0824 岐阜県高山市片野町2121番地
TEL:0577-32-0390 FAX:0577-37-0020 URL <http://www.waida.co.jp>



第89期 株主通信
(上半期のご報告)

2017年4月1日 ▶ 2017年9月30日



photo by ikedo

秋の高山祭(岐阜県 高山市)

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

第89期上半期(2017年4月1日から2017年9月30日まで)の当社を取り巻く市場環境は、中国市場や国内外の切削工具関連市場が回復基調にあることを受け需要が拡大しました。こうした中、当社グループにおきましては、前期を上回る水準で受注高が推移したことから、前期比増収増益とした期初計画をほぼ達成することができました。

下半期に向け、引き続き回復基調にある市場環境に対応すべく生産体制・営業体制を強化するとともに、経営課題である新機種の拡販や欧米市場の攻略に積極的に取り組んでまいり所存でございます。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長兼社長
和井田 光生

第89期上半期の概況

第89期上半期（2017年4月1日から2017年9月30日まで）の当社グループは、期初受注残が低い水準であったことから厳しいスタートとなりました。しかしながら、長く低迷が続いた中国市場が好転したこと、また、一服感が見られた国内外の切削工具関連市場において堅調な自動車業界を背景に設備投資の動きが強まってきたことにより、受注環境が改善し売上高・利益ともに前年同期を上回る結果となりました。

期初開示計画に対しましては、売上高は若干下振れしたものの、利益は改善効果等により計画を上回りました。

第89期の見通し

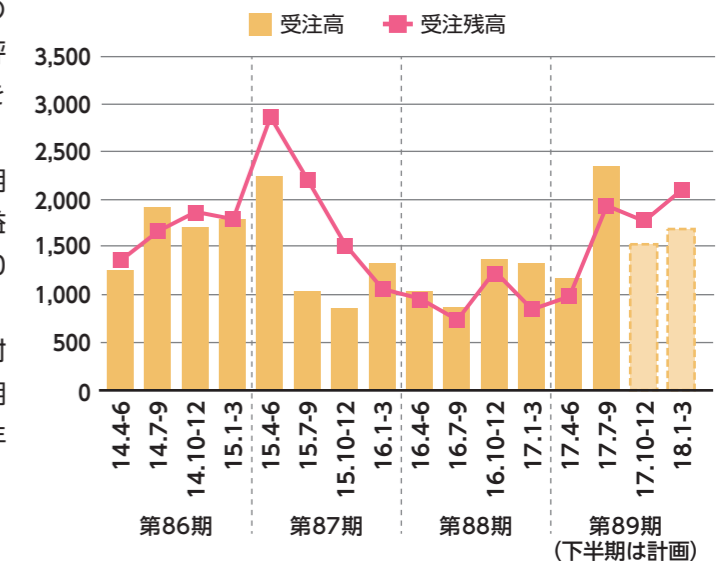
第89期下半期（2017年10月1日から2018年3月31日まで）の市場環境は、金型関連研削盤において中国市場に落ち着きが見られるものの一定の需要は継続する見通しであり、一方で切削工具関連研削盤の需要は国内外ともに高い水準で推移するものと見通しております。また、上半期中の受注回復により、下半期は受注残を確保してのスタートとなることから、前年同期比、前半期（第89期上半期）比のいずれも売上高・利益ともに上回る見込みであります。

経営課題であります欧米市場の攻略につきましては、営業やアフターサービス強化のため米国に支店の開設を進め

るなどの取り組みにより、北米域での受注拡大を着実に進めております。また、新機種（APX-105, GIG-202, iPG-X）の拡販につきましては、リピート受注をいただくなど高く評価されており、さらにユーザーの拡大に向けた取り組みを進めております。

以上の状況をふまえ期初計画を上方修正し、第89期通期の売上高は5,492百万円（前年同期比13.9%増）、経常利益は647百万円（前年同期比107.2%増）、当期純利益は450百万円（前年同期比137.3%増）となる見通しです。また、配当金につきましては、第89期中間配当金は期初計画に対し1株につき2円増配の7円とさせていただき、第89期期末配当金は期初計画に対し1株につき2円増配の11円（年間では18円）を予定しております。

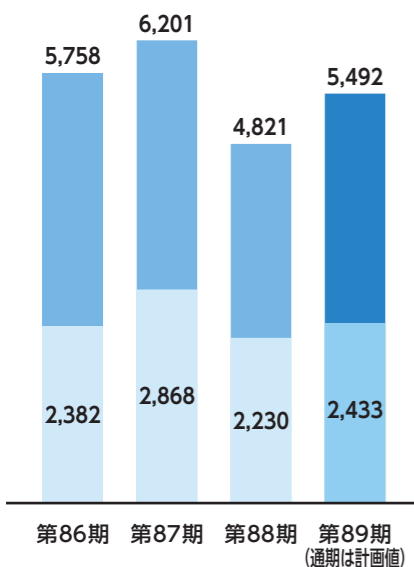
受注高・受注残高の推移(単位:百万円)



業績ハイライト

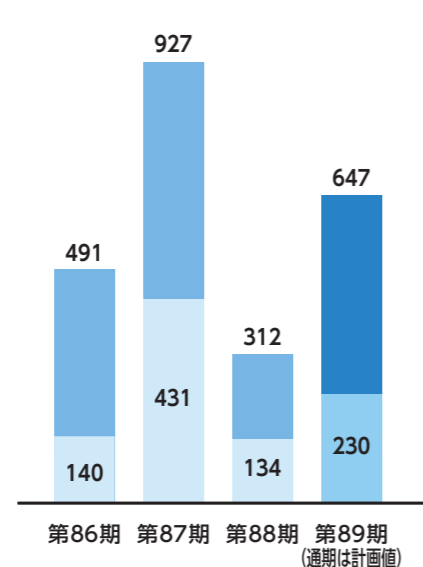
売上高(単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



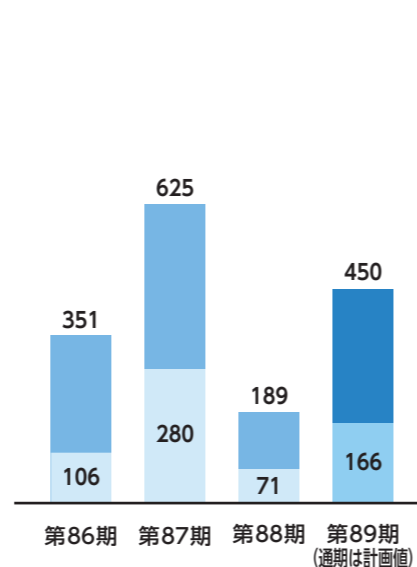
経常利益(単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



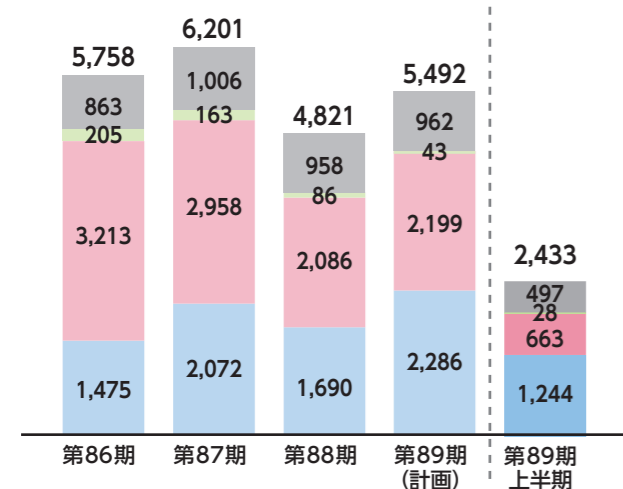
当期純利益(単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



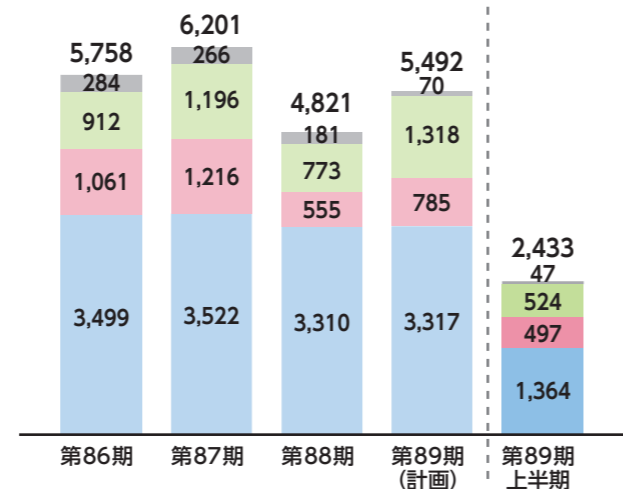
品目別売上高(単位:百万円)

■ 金型関連研削盤 ■ その他の機械(新分野)
■ 切削工具関連研削盤 ■ アフターサービス



地域別売上高(最終据付地にて集計)(単位:百万円)

■ 国内 ■ アジア地域(中国を除く) ■ 中国 ■ 欧米等



トピックス

機械工業デザイン賞を受賞

昨年販売を開始しました新機種「全自動プロファイル研削盤 iPG-X」が、第47回機械工業デザイン賞（主催：日刊工業新聞社、後援：経済産業省）の日本商工会議所会頭賞を受賞いたしました。

APX-101（第45回受賞）、TGX-meV（第40回受賞）、UJG-75（第39回受賞）に続く4回目の受賞であり、独自の技術開発力を基盤とするデザイン開発が高く評価され続けていますことをたいへん光栄に思っております。



EMO2017に出展いたしました

2017年9月18日（月）～23日（土）にドイツのハノーバーで開催されたEMO2017（欧州国際工作機械見本市）に、ドイツHaas社との協業のもとインサート研削盤（APX-103）を出展いたしました。

2018年3月にはドイツのアウグスブルクで開催される展示会に出展するなど、様々な機会を通じて欧州市場での拡販を積極的に進めております。



米国に支店を開設いたします

北米におけるこれまでの営業活動により一定の見通しができたことから、米国ノースカロライナ州シャーロット近郊に支店を開設する運びとなりました。2018年4月1日の営業開始をめざし、現在着々と準備を進めております。

将来的には営業活動にとどまらずアフターサービスも当支店で行えるよう体制を整える計画であり、この拠点を核にさらなる受注の拡大を目指してまいります。



※ 記載金額は、表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

※ 本株主通信では「親会社株主に帰属する当期純利益」および「親会社株主に帰属する四半期純利益」を「当期純利益」として表示しております。